



Kato Tutoring School

きびしく教え、あたたかく育む



NEWS LETTER

週末を活用したパーフェクトゼミ

途中参加可能

	締切	実施
漢検	10/1(木)	10/31(土)
数検	10/20(火)	11/21(土)

中3「11月模試」…11/8(日)・11/15(日)

表紙・目次・お知らせ	P1	生き物の死にざま・クラゲ	P7
11月模試・検定試験	P2	スナック売り上げランキング	P8
カレンダー・パーフェクトゼミ	P3	倭とは何か?	P9
今さら聞けないIT用語①	P4	算数五輪・英検合格者	P10
今さら聞けないIT用語②	P5	算数オリンピック解答	P11
ドリフ、ひょうきん族に敗る	P6	9月生まれの生徒諸君・寒椿	P12

～塾からのお知らせ～

1. 10/27(火)の引落しについて

中3生は、秋期模試代3,500円を合わせて引落としさせていただきます。

2. 検定試験について

検定試験	漢検	締切: 10/1 (木)	実施: 10/31 (土)
	数検	締切: 10/20 (火)	実施: 11/21 (土)

※中3でまだ3級を取得していない人は必ず受験してください。加藤学習塾の各教室で受験できます。

3. 中3「11月模試」

教室	月日	時間
山陽教室	※教室担当より別途お知らせいたします	
和気教室	※山陽教室に合流	
竜操教室	11/15(日)	14:30~18:35
福浜教室	11/15(日)	9:00~13:05
藤田教室	11/8(日)	14:00~18:05
灘崎教室	11/8(日)	9:00~13:05

あまりにも

日本的な日本

日本衰退の原因についてあまりにも乱暴すぎる私見を述べてみたいと思います。

日本衰退の理由、それは第四次産業革命に乗り遅れたことです。しかも日本は取り残されたまま、世界は第五次産業革命に移行しつつあります。AIがビッグデータを運用していくよな世界です。

アマゾンのCEOジェフ・ベゾスはデンマーク系移民。グーグルのサンダー・ピチャイはインド。マイクロソフトのサティアナデラもインド。フェイスブックのマークザッカーバーグはドイツ系。アップルの創始者スティーブ・ジョブズはシリア系。アメリカは世界の才能を集めています。

日本はいまだ鎖国を続けているように見えません。勝てるわけがない。

4. 塾カレンダー 〈10月～11月〉

10/16	金		10/31	土	漢検実施	11/15	日	V模試
10/17	土	中間対策開始	11/1	日	懇談週間始まり	11/16	月	
10/18	日	〈休み〉	11/2	月		11/17	火	
10/19	月		11/3	火		11/18	水	
10/20	火	数検締切	11/4	水		11/19	木	
10/21	水		11/5	木		11/20	金	
10/22	木		11/6	金		11/21	土	数検実施
10/23	金		11/7	土	パーゼミ前期⑥	11/22	日	休み
10/24	土	パーゼミ前期⑤	11/8	日	懇談週間終わり・V模試	11/23	月	
10/25	日	〈休み〉	11/9	月		11/24	火	
10/26	月		11/10	火		11/25	水	
10/27	火	引落し日	11/11	水		11/26	木	
10/28	水		11/12	木		11/27	金	引落し日
10/29	木		11/13	金		11/28	土	
10/30	金		11/14	土	パーゼミ前期⑦	11/29	日	休み

《週末を活用した入試必勝パーフェクトゼミ》

— 前期ただ今進行中 —

途中からの参加も可能

時間割		
文系の日	理系の日	時間
英語	数学	9:00～10:15
国語	理科	10:20～11:35
昼休み		11:35～12:15
社会	数学	12:15～13:30

前期日程 〈全8回〉	後期日程 〈全9回〉
文系日・理系日は交互	文系日・理系日は交互
9/12, 9/19, 9/26, 10/3 10/24, 11/7, 11/14, 12/12	1/9, 1/16, 1/23, 1/30, 2/6 2/13, 2/20, 2/27, 3/6
※学校行事等で土曜日が無理な場合は、翌日の日曜日に振り替えます。	



blowing into Education



いまさら聞けない?! 小・中学生の親が 知っておきたいIT用語《モノ編》

そもそも IT用語とは?

「IT(アイティー)用語」とは、パソコンやスマホ・インターネットなどを含む、広い意味の「ネット関連」で使われる言葉のことです。しかし一般的にIT用語というと、仕事の際に必要なとなる難しい言葉が多め。実際にIT系の仕事といえば、プログラムを組む「エンジニア」やWebを使ったデザイン・マーケティングなど技術とスキルが必要なものが一般的です。

小学校・中学校の保護者であればそんな難しいIT用語を覚える必要はないけれど、オンラインで何かを行う際に必要となるモノや関連ツール名は、とりあえず知っておくのがベター。用語に関して大体のイメージが湧けば、「何が分からないかすら分からない……」という状況も防げます。

小・中学生の親が知っておきたい IT用語

まずは基礎となる「目に見えるモノ」から。アイテムによって多少の違いはありますが、基本的には以下の認識で大丈夫です。

・デバイス

パソコンやスマホなど、それら単体のことやそれを接続する機器のことを指します。例えば家にパソコン1台・スマホ2台・タブレット1台がある状態なら、簡単にいえば「デバイスは4つ」に。

・タブレット

画面サイズがスマホより大きく、パソコンより小さくて、タッチ操作で使うものをタブレットと呼びます。中に入っているソフト(OS)がタブレットの種類によって違い、スマホと同じ「android(アンドロイド)」や「iOS(アイオーエス)」もしくは「Windows(ウィンドウズ)」が入っているものも。別売りのキーボードを付ければ、パソコンのように使えるタブレットもあります。

また、スマホには対応しているけれどタブレットには対応していないアプリなどもあり、「代用」とはならないこともあるので注意が必要です。

・Webカメラ

オンラインで会話する相手にこちらの顔が見えるようにするためのカメラのことです。パソコン画面付近にレンズがあれば元から付いているので、設定から詳細を調整するだけで使えます。

カメラが付いていないものは別売りでWebカメラを購入し、設定する必要があります。ただしこちらにカメラが無く、顔を映せなくても音声だけでオンライン通話は可能で、相手の顔は見ることができます。オンライン学習を受ける際は、あらかじめWebカメラが必要かどうか確認しておきましょう。

・マイク

パソコンにカメラがついていない場合でも、マイクとスピーカーは付いていることがほとんどです。もちろんそれを使ってもよいですが、相手に聞こえにくかったり、こちらが聞き取りにくかったりすることも。そのためオンライン学習を考えているなら、マイクとヘッドホン(イヤホン)は別売りのものを購入して準備するのがおすすめです。

・スピーカー

スピーカーはパソコンからの効果音やYouTubeの音・音楽などすべてを聞くものです。そのまま使ってもよいですが、マイクと同様、別売りのヘッドホン(イヤホン)を使うことで生活音やほかの家族の声などがオンラインの相手に聞こえなくなります。

IT用語「モノに関連するツール」

オンラインでのやりとりをするにあたり、通信速度や費用の制限などに注意が必要になる可能性も。よく使う関連ツール用語についても理解しておきましょう。

・Wi-Fi(ワイファイ)

Wi-Fiとはケーブルで回線を繋ぐのではなく、ルーターと呼ばれる機器を通じてその付近に回線を飛ばすことです。自宅の高速なネット回線は、Wi-Fiを使ってケーブル接続なしで使うととても便利です。ただしケーブルが無いので急に接続が切れたり、電波が不安定になったりする場合も。

・クラウド

クラウドは「雲」という意味を持っており、その名のとおり目には見えない「インターネット上の保管場所」のことを指します。例えば自宅にあるパソコンやスマホのデータ容量がいっぱいでも、クラウドを使えば機器のなかではなくインターネット上にデータを保存することができます。

基本的に自分のクラウドは、共有設定をしない限り自分しか見ることができないので、安心して利用可能です。

・ブラウザ

気になるお店の営業時間を調べたい……そんなとき「検索」するために使うもの、それが「ブラウザ」です。ブラウザとはインターネットを使うために必要なソフトのことで、インターネットエクスプローラーやグーグルクロームのほか、サファリなどがこれに当たります。

・PDF

PDFは、紙の書類をそのままデジタルにしたようなイメージでOKです。エクセルやワード、テキストなどはほかのパソコンに送ったときなどに、見た目が崩れたり少しの操作で内容が変わったりしてしまうことも。しかし「一枚の紙」のように使えるPDFならそんな心配はなく、そのままの状態ですりとりできるメリットがあるため、多くのシーンで使われています。

ドリフが「ひょうきん族」に負けた日



テレビの午後7時から11時までのプライムタイムの視聴率1%は、関東地区で40万人、関西なら16万人、全国では117万人の視聴者に換算されるという。

この時間帯のお笑い番組は、15%の視聴率を稼ぐと「合格ライン」とされる。単純計算すれば1755万人の視線を画面に向けさせたことになる。

1986年2月 漫才ブームの渦中だった昭和56年、テレビのお笑いを根本から変えたと言われるフジテレビ系の大ヒット番組「オレたちひょうきん族」がスタートした。

ブームで名を売ったビートたけしや島田紳助らがそのまま横滑りする形で出演した番組のコンセプトは、アドリブを重視した即興的な笑い。それは当時、いかりや長介率いるザ・ドリフターズの看板番組として、圧倒的人気を誇った「8時だヨ！全員集合」（TBS系）へのあからさまな「挑戦」だった。

当時の「ひょうきん族」プロデューサー、横澤彪（たけし）＝故人＝は生前、次のように語っている。

「僕が特に気を配ったのは、漫才という笑芸をどう新しく見せるかでした。言い換えれば、吉本の漫才師たちが築き上げた話芸をいかに解体し、キャラを引き立たせるかに苦心したということです」

横澤が求めたのは「芸」ではなく芸人の「キャラクター」。入念なりハーサルを繰り返し、お決まりのオチに向かって突き進む「ドリフ的笑い」とは一線を画した新しいスタイルを確立することで、ひょうきん族は盤石の“王者”を完全に抜き去った。

「冗長な部分、ウケてないところはどんどん編集を入れましたね。テレビは食事をしながらとか、本を読みながらとか、いつも何かを『しながら』見る媒体ですから、視聴者の耳目を引きつける演出が必要だったんです」

共演者からネタを振られたら必要以上に大げさに切り返し、突然のハプニングにはオーバーアクションで自分をアピールする。ひょうきん族で横澤が取った手法は、その後のお笑い番組の「主流」に変わったが、一方で芸人から「芸」を奪う皮肉も招いた。

澤田は自戒を込めて言う。

「芸を失った芸人は、芸人ではなくタレント。リアクションだけなら素人でもできる。僕が思うに、今の時代の最高の『リアクション芸人』は、橋下徹さんじゃないですか？」

「15分のネタを3分でやらせる」「実力よりもキャラを重視する」…。今、そうしたテレビのお笑いに対する批判は、「ベテラン」と呼ばれる芸人になればなるほど強く感じている。

ベテラン漫才コンビ、オール阪神・巨人のオール巨人は「テレビがなかったら芸人はもっとつぶれている」と前置きした上で、こうも付け加えた。

「僕らは劇場で一番頑張るし、大事にしている。でもテレビやと、漫才が編集で無残にカットされてしまう。ええ格好やなくて、ほんまお客さんに悪いと思っています。だからもう一生、テレビには出なくてもいいですね」（敬称略）

※産経新聞連載「吉本興業研究」の一部を再録→改編。



生き物の死にざま

稲垣栄洋

生きていることが生きがい①

水族館で眺めていると、クラゲというのには本当に不思議な生き物である。

ゆらゆらと浮遊しているだけのようにも見えるが、懸命に傘を開いたり閉じたりして泳いでいる。水槽の上の方に泳いでいったかと思えば、今度は下に向かって泳いでいく。ただ水の流れに乗せられているだけではないようだ。

泳いでいるということは、それなりに移動したいという意志や、移動する目的はあるのだろう。しかし、何のために泳いでいるのか、眺めているだけでは、皆目、見当がつかない。クラゲはいつたい、何を考えているのだろう。

「クラゲにだって生きがいはある」

喜劇俳優のチャップリンの残したこんな名言がある。

チャップリンの映画「ライムライト」の一場面、生きることに絶望し、命を絶とうとした若きバレリーナに主人公はこう語りかける。

「生きていくことは美しく素晴らしいことだ。たとえ、クラゲであってもね」

これがよく知られる名言の元となったセリフである。

生きることは素晴らしいことだ。それはクラゲであっても変わらない。生命にとつては、生きていくこと、そのことが美しく価値あることなのだ。

事実、生きがいを見失い、自殺してしまうクラゲはおそらくない。クラゲにとつては、生きていくこと自体が生きがいなのである。



クラゲが地球に出現したのは五億年も昔のことである。その頃は、恐竜はおろか、魚類でさえまだ存在しなかった。

クラゲは、単細胞生物が多細胞生物へと進化した直後に発達を遂げたエディアカラ生物群の生き残りではないかと言われている。地球の歴史をさかのぼっても、クラゲは相当に古い生物である。

そして、そんな大昔からクラゲは現代に命をつないできたのだ。

古代から生き抜いてきたクラゲの生活史は、じつに複雑で、そして不思議である。

生まれたばかりのクラゲは、プラヌラという小さなプランクトンとして浮遊している。ところがプラヌラは、植物のタネのような存在でもある。プラヌラは岩などに付着すると、そこに芽を出すのだ。そして、ポリプというイソギンチャクのような生き物となる。

ポリプはもはや動き回ることはない。その場所に定着して暮らすのである。

ポリプは分裂して増殖できる。まさに植物のような存在だ。しかし、クラゲは植物ではなく、れっきとした動物である。

やがて、ポリプはお椀が重なったようなストロピアという形態に変化する。そして、このお椀が、バラバラに離れていくように、次々に分身を作り出していく。このお椀のような分身がエフィラと呼ばれるクラゲの幼生なのである。

クラゲの幼生であるエフィラは、泳ぎながら成長し、やがてクラゲになる。イソギンチャクのように、定着して暮らしていたポリプやストロピラが獲物を捕らえるために持つていた上向きの触手は、クラゲになると下向きとなる。この触手で、泳いだり、獲物を捕らえたりするのである。

このクラゲが体内で卵をかえして、次の世代であるプラヌラを生み出す。そしてプラヌラを産んだクラゲは死んでしまうのである。こうして、クラゲの生活史は永遠に繰り返される。

生きていることが生きがい②

クラゲの成体の寿命は短い。種類によって異なるが、長くても一年程度だろう。

ところが、である。驚くべきことに、死ぬことのないクラゲが存在するという。

ベニクラゲである。

ベニクラゲは、他のクラゲのようにプラヌラから、ポリプ、ストロビラを経て、クラゲの幼生となる。そして成長を遂げてクラゲとなるのである。

そのベニクラゲにもやがて死が訪れる。いや、訪れるはずである。

ところが、死んだと思われたベニクラゲは、あろうことか、小さく丸まって新たなポリプとなる。そして、再びポリプから生活史をスタートさせるのである。こうして、知らない間に若返ってしまうのだ。ベニクラゲは、これを繰り返す。年をとらないわけではないが、ベニクラゲは何度もポリプに若返り、何度でも生涯をやり直すことができる。その意味では、まさに不老不死である。

クラゲが地球に出現したのは五億年も前のことである。一説では、その頃から、五億年間ずっと生き続けているベニクラゲがいるのではないかとも言われているほどだ。何という生き物だろう。

不老不死は、古今東西の人類の願いでもある。



実際に、このベニクラゲの不老不死のメカニズムを解明することで、人間に応用できないかと考える研究者もいるらしい。

不老不死とは、いったいどのようなものなのだろうか。もう、老いることも、死ぬことも、恐れることはないのだ。やりたいことは何だってできる。もし、五億年という時を生きることができる

生きていることが生きがい③

としたら、いったい何をするだろう。いや、そんなことさえ考える必要はないだろう。何しろ時間は無限にあるのだ。そんなことは、いつか考えればいいし、思いつく日もあるだろう。

ある日、不老不死と言われるベニクラゲは、のんびりと浅い海をプカプカ浮かんでいた。

どれだけ、こんな暮らしを続けていることだろう。そして、次の日も次の日もきっとこんな日が続くことだろう。

と、突然、ベニクラゲの体は海の中へと引きずり込まれた。そう思うが早いか、ベニクラゲの姿は一瞬にして見えなくなってしまった。

ウミガメである。

ウミガメはクラゲを好物にしている。おそらく、ウミガメがベニクラゲを捕食してしまったのだろう。

いったい、このベニクラゲは何年生きてきたのだろう。もしかすると何百年、何千年を生きてきたクラゲかもしれない。そんなベニクラゲにとっても死とはじつにあっけないものだ。寿命がないベニクラゲにとっても、死はすぐ隣にあるのだ。



スナック菓子売り上げランキング

1位	ポテトチップスうすしお味	カルビー	6位	スゴーン海老まるごと	湖池屋
2位	じゃがりこサラダ	カルビー	7位	ピザポテト	カルビー
3位	じゃがりこ枝豆しおバター味	カルビー	8位	カールチーズあじ	明治
4位	チップスターしうすしお	ヤマサキ	9位	かつぱえびせん	カルビー
5位	ポテトチップスコンソメパンチ	カルビー	10位	とんがりコーン焼とうもろこし	ハウス

倭とは何か

『漢書』をはじめとする古代中国の歴史書には、日本は「倭」と書かれている。

「倭」という文字には、「小さい」「従順な」という意味があるが、決していい意味を表す文字ではない。中国では昔から周辺国の国名や人物には、卑しい意味を持つ文字を当てる。国名では「匈奴」「鮮卑」「奴国」などだ。邪馬台国にも「邪」賤字が付けられている。『後漢書』『東夷伝』の「夷」も賤字である。

最初は文字を持たなかった日本人も、やがて漢字を習得すると、「倭」がいい意

味の字ではないということがわかってきた。そこで七世紀中頃から同じ「わ」という音を持つ「和」という字を使うようになる(六六八年の天智天皇の即位から「和国」の文字が使われるようになった)とう説がある。

ここで一つ疑問が生じる。なぜ魏の人は日本を「倭」と呼んだのかということだ。私は、魏に赴いた使節が自分たちのことを「わ」と言っただけではないかと想像する。日本人は昔も今も、自分のことを「われ」「わし」「わがはい」「わたし」「わが」「わい」などと



言う。東北地方の一部には「わ」という言葉も残っている。古代中国へ渡った使節は、「お前たちは何者だ？」と訊かれて、自分たちのことを「わ」と言ったのではないか。それを聞いた中国人が、記録に「倭」ないし「倭国」と書き、その呼び名が日本に逆輸入されたのではないだろうか。もちろん文献が残っているわけではなく、私の推測にすぎないことを断っておく。

〈百田尚樹『日本国紀』〉





〈答え〉 3

解説

論理的誤りは、弁護士業においては意識的であらねばならないが、一般においても同様であるだろう。なお、論理的誤りを意図的に用いる「詭弁」はいろいろな形があるが、「偏見」を生む基礎ともなるので、健全な社会人として、常に注意したい。

1, 2, 4, 5 はすべて「AはBである。CもBである。だから、CはAである」という誤った三段論法である。論理学では、「媒概念不周延の虚偽」といわれる間違いであり、「詭弁」である。

これは、「ヒトは哺乳類である。ネコは哺乳類である。だから、ネコは人だ」と同じ論理構造である。

「ヒトは哺乳類である。日本人は哺乳類である。だから、日本人は人だ」は日本人がヒトの部分集合なので正しいが、「ヒトは哺乳類である。ネコは哺乳類である。だから、ネコはヒトだ」は、ネコがヒトの部分集合でないので成立しない。

そもそも日本人がヒトの部分集合であることが前提であるのなら、ヒトや日本人が哺乳類であるかどうかはどうでもいいことであり、「ヒトは哺乳類である。日本人は哺乳類である。だから、日本人はヒトだ」は、文としては意味をなさない。

一方、3は、「金にこまっていない→犯罪に走らない」は「金に困る→犯罪に走る」の「裏」であり、正しいとは限らない。これを主張する3は、他とは異なる論理的誤りを犯している。

吾輩は
ヒトである



キミもか



私は神だ

